

## 千葉県老人保健施設協会 研究事例発表大会にて最優秀賞を受賞!

### 「重症度利用者の在宅復帰に向けた 在宅復帰支援と在宅支援の統合について」

ハートケア流山は、平成29年12月14日に開催された千葉県老人保健施設協会の事例研究発表大会において『重症度利用者の在宅復帰における在宅復帰支援と在宅支援の統合について』を発表し最優秀賞を頂きました。

私たちは在宅復帰強化型施設であり、多くの利用者様を住み慣れた地域に帰しています。しかし介護度の重度化に伴い、在宅での必要サービスが支給限度額をオーバーするため、自宅に帰りにくい状況になってきています。

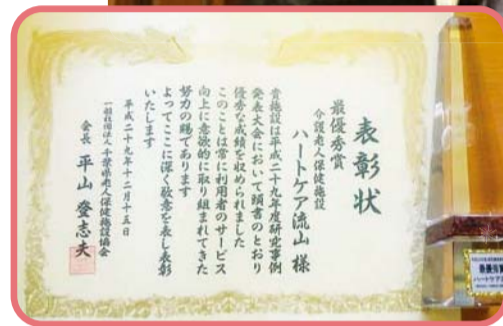
そこで在宅復帰後の支給限度額内でまかなえるサービスの量について研究をし、入所中から訪問介護員に施設へ訪問し、在宅でのサービスを調整するという施設介護と在宅介護での一体化に取り組みました。

その結果、在宅で起こりやすい肺炎、褥瘡、転倒事故などの軽減につながりました。

この内容は先日、流山市市長にも報告させていただく機会を得、市報でも取り上げられることになり、自施設の基本理念である地域の人に信頼され選ばれる施設にまた近づいた事を嬉しく思っております。



介護老人保健施設 ハートケア流山  
介護係長 赤澤 健児  
訪問介護所長 雨澤 慎悟



## 看護部長・介護看護部長 平成29年度 目標成果発表会開催



病院・老健の(介護)看護部長による看護部(看護・介護部)成果発表会が去る2月1日、2日に行われました。

この取り組みはお陰様で、会を重ねて18回になりました。

各病院・施設の部長が、限られた時間内に思う存分発表できるわけではありませんが、発表する者も聞く者も真剣でした。

とりわけ病院では、看護師や助手の人員確保、老健では、入院を防ぐ取り組みが主立っていました。

教育面では、AMGキャリアラダーの活用が話題になっていました。

看護(介護)部のトップマネージャーとして、部門の質を段階的に向上するために目標を立てて挑戦する事は重要ですし、看護・介護の人員が十分ではない中で、ご利用者様が望まれていることを実施するのは並大抵のことではありません。

今年度の評価から成果が上がった項目は褒めて、下がった項目は次年度の課題にして進んでいきましょう。

看護(介護)部の増々の発展を望み、期待しつつ報告します。



AMG 協議会看護局 看護局長 柳谷 良子

## 看護局の「教育計画」完成しました!

平成30年度に向けて、「教育計画」が完成しました。昨年度に引き続き、新たに次世代を担う看護管理者を育成するための研修、名づけて「AMGキャリア開発プログラム:科長以上」の開催を予定しています。その他にも、老健で勤務する看護職向けの研修や、介護職を対象にした研修も計画しています。更にキャリアサポートセンターで開催される研修案内も掲載していますので、平成30年度に向けた個人目標を設定する際に、是非ご活用下さい。教育計画は、各病棟・部署分お送りします。研修に参加ご希望の方は看護局のホームページからお申し込み下さい。皆様の参加をお待ちしております。

AMG 協議会看護局 教育部長 島尻 美恵

